

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								2.9
Q1 室内環境								2.7
1 音環境		2.1	0.15	-	-			2.1
1.1 騒音		3.0	0.40	-	-			
1 室内騒音レベル		3.0	1.00	-	-			
2 設備騒音対策		-	-	-	-			
1.2 遮音		1.8	0.40	-	-			
1 開口部遮音性能		1.0	0.60	-	-			
2 界壁遮音性能		3.0	0.40	-	-			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	-	-			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	-	-			
1.3 吸音		1.0	0.20	-	-			
2 温熱環境		2.7	0.35	-	-			2.7
2.1 室温制御		3.3	0.50	-	-			
1 室温		2.0	0.38	-	-			
2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-			
3 外皮性能		3.0	0.25	-	-			
4 ゾーン別制御性	冷暖同時運転が可能な空調システムの採用	5.0	0.38	-	-			
5 温度・湿度制御		-	-	-	-			
6 個別制御		-	-	-	-			
7 時間外空調に対する配慮		-	-	-	-			
8 監視システム		-	-	-	-			
2.2 湿度制御		1.0	0.20	-	-			
2.3 空調方式		3.0	0.30	-	-			
3 光・視環境		2.1	0.25	-	-			2.1
3.1 昼光利用		1.8	0.30	-	-			
1 昼光率		1.0	0.60	-	-			
2 方位別開口		-	-	-	-			
3 昼光利用設備		3.0	0.40	-	-			
3.2 グレア対策		1.0	0.30	-	-			
1 照明器具のグレア		-	-	-	-			
2 昼光制御		1.0	1.00	-	-			
3 映り込み対策		-	-	-	-			
3.3 照度	事務室750lx	4.0	0.15	-	-			
3.4 照明制御		3.0	0.25	-	-			
4 空気環境		3.6	0.25	-	-			3.6
4.1 発生源対策		4.0	0.50	-	-			
1 化学汚染物質	F 建材をほぼ全面的に採用	4.0	1.00	-	-			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
3 ダニ・カビ等		-	-	-	-			
4 レジオネラ対策		-	-	-	-			
4.2 換気		3.3	0.30	-	-			
1 換気量		3.0	0.33	-	-			
2 自然換気性能		3.0	0.33	-	-			
3 取り入れ外気への配慮	各種排気口と6m以上離して設置	4.0	0.33	-	-			
4 給気計画		-	-	-	-			
4.3 運用管理		3.0	0.20	-	-			
1 CO ₂ の監視		-	-	-	-			
2 喫煙の制御		3.0	1.00	-	-			
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-			3.6
1 機能性		3.5	0.40	-	-			3.5
1.1 機能性・使いやすさ		2.3	0.40	-	-			
1 広さ・収納性		3.0	0.33	-	-			
2 高度情報通信設備対応		3.0	0.33	-	-			
3 バリアフリー計画		1.0	0.33	-	-			
1.2 心理性・快適性		4.6	0.30	-	-			
1 広さ感・景観	事務室CH2.7m	4.0	0.33	-	-			
2 リフレッシュスペース	喫煙室の設置、リフレッシュスペース(食堂)内に自動販売機を設置	5.0	0.33	-	-			
3 内装計画	建物全体のコンセプトや機能に配慮する具体的な取り組みを実施	5.0	0.33	-	-			
1.3 維持管理		4.0	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計	トイレの内装材に床:長尺シート、壁:化粧ケイカル板を採用 他	4.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保	掃除流し(SK)を各階に設置、廃棄物スペースの確保 他	4.0	0.50	-	-			
3 衛生管理業務		-	-	-	-			
2 耐用性・信頼性		3.0	0.31	-	-			3.0
2.1 耐震・免震		3.0	0.48	-	-			
1 耐震性		3.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.33	-	-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.23	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水管:塩ビライニング鋼管(B)、排水管:VP(B)、Eは不使用	5.0	0.15	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		2.0	0.23	-	-			

2.4 信頼性	1	空調・換気設備	3.2	0.19	-	-	-
	2	給排水・衛生設備	3.0	0.20	-	-	-
	3	電気設備	3.0	0.20	-	-	-
	4	機械・配管支持方法	3.0	0.20	-	-	-
	5	通信・情報設備	4.0	0.20	-	-	-
通信の多様化(光・メタル)、地下階なし							
3 対応性・更新性			4.2	0.29	-	-	4.2
3.1 空間のゆとり			4.6	0.31	-	-	-
1	階高のゆとり	階高3.9m以上	5.0	0.60	-	-	-
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.1015	4.0	0.40	-	-	-
3.2 荷重のゆとり			5.0	0.31	-	-	-
倉庫床積載荷重: 10,000N/m ²							
3.3 設備の更新性			3.4	0.38	-	-	-
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	-
2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	-
3	電気配線の更新性	ケーブルラックや保護配管による配線	5.0	0.11	-	-	-
4	通信配線の更新性	ケーブルラックや保護配管による配線、OAフロアの採用	5.0	0.11	-	-	-
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	-
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.39	-	-	2.5
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	-
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.7
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.9
1 建物の熱負荷抑制			PAL161.1MJ/m ² 年(外皮の断熱強化)	5.0	0.04	-	5.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.27	-	3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用			3.0	0.50	-	-
2.2	自然エネルギーの変換利用			3.0	0.50	-	-
3 設備システムの高効率化			LED照明の採用	5.0	0.41	-	5.0
集合住宅以外の評価(ERRによる評価)			ERR=53.2%	5.0	-	-	-
集合住宅の評価				-	-	-	-
4 効率的運用				3.0	0.27	-	3.0
4.1	モニタリング			3.0	0.50	-	-
4.2	運用管理体制			3.0	0.50	-	-
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.6
1 水資源保護			3.4	0.15	-	-	3.4
1.1	節水		節水型便器および自動水栓の採用	4.0	0.40	-	-
1.2	雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-
1	雨水利用システム導入の有無			3.0	0.67	-	-
2	雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.33	-	-
2 非再生性資源の使用量削減			3.6	0.63	-	-	3.6
2.1	材料使用量の削減			2.0	0.07	-	-
2.2	既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.25	-	-
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.21	-	-
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用		再生クラッシュラン: 路盤材、タイル: 床	4.0	0.21	-	-
2.5	持続可能な森林から産出された木材			-	-	-	-
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		S造のため躯体と仕上げ材の分別が容易、OAフロアの採用	5.0	0.25	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.6	0.22	-	-	3.6
3.1	有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.32	-	-
3.2	フロン・ハロンの回避			4.0	0.68	-	-
1	消火剤			-	-	-	-
2	発泡剤(断熱材等)		発泡断熱材はノンフロン材を採用	5.0	0.50	-	-
3	冷媒			3.0	0.50	-	-
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.5
1 地球温暖化への配慮			外皮の断熱強化、LED照明の採用	3.9	0.33	-	3.9
2 地域環境への配慮				3.6	0.33	-	3.6
2.1	大気汚染防止		燃焼機器の設置なし	5.0	0.25	-	-
2.2	温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-
2.3	地域インフラへの負荷抑制			3.7	0.25	-	-
1	雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-
2	汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-
3	交通負荷抑制		十分な量の駐輪場、駐車場を確保、荷捌き用スペースを確保 他	5.0	0.25	-	-
4	廃棄物処理負荷抑制		既存の他工場よりゴミの種類等を推計、廃棄物置場を計画 他	4.0	0.25	-	-
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
3.1	騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-
1	騒音			3.0	0.50	-	-
2	振動			3.0	0.50	-	-
3	悪臭			-	-	-	-
3.2	風害・砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-
1	風害の抑制			3.0	0.70	-	-
2	砂塵の抑制			-	-	-	-
3	日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-
3.3	光害の抑制			3.7	0.20	-	-
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		光害チェックリストの一部を満足、広告物照明なし	4.0	0.70	-	-
2	壁光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-